

第2回 磐越東線活性化対策協議会 総会 議事録

1 日時 令和6年3月25日（月）10時30分～12時00分

2 場所 三春交流館「まほら」

3 参加者

【構成員】

所属名	職名	氏名	備考
郡山市	副市長	村上 一郎	代理出席
いわき市	市長	内田 広之	
田村市	市長	白石 高司	
三春町	町長	坂本 浩之	
小野町	町長	村上 昭正	
福島県	生活環境部長	鈴木 竜次	

【オブザーバー】

所属名	職名	氏名	備考
東日本旅客鉄道株式会社東北本部	企画総務部企画部長	石川 文雄	
国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	佐々木 由隆	
福島県県中地方振興局	県民環境部長	目黒 幹浩	代理出席
福島県いわき地方振興局	局長	半澤 浩司	

4 配布資料

資料1：第2回磐越東線活性化対策協議会総会 議案書

資料2：第2回磐越東線活性化対策協議会総会 説明資料

資料3：磐越東線活性化ワーキンググループ日常チーム
磐越東線を日常に。

資料4：磐越東線活性化ワーキンググループ観光チーム

『世界』から選ばれる磐越東線を目指して～知る・楽しむ・巡る高付加価値化～

5 概要

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 報告事項

① 磐越東線の現状について

② 取組み実績について

③ 磐越東線活性化ワーキンググループの成果について

(4) 議事

① 令和6年度事業計画（案）について

② 令和6年度収支予算（案）について

(5) 意見交換

(6) 閉会

6 議事（意見）

（いわき市 内田市長）

- ・各自治体で、2次交通の確保やイベントの開催などに取り組みられてきたと思う。ワーキンググループでもいろいろなアイデアが出たがそれを実行して年間通じて「磐越東線盛り上がっているぞ！」をいうのを住民の方々に示し、日常利用についても促していきたい。
- ・最近、只見線はメディアに取り上げることも多く、磐越東線もそれに負けず力を合わせて動いていきたいと思う。

（JR 東日本東北本部 石川企画部長）

- ・当社としてもぜひ、沿線の活性化に協力していきたい。
- ・今回のワーキンググループでは、観光利用だけではなく、日常利用の面からも議論いただき当社としてもとても勉強になった、当社としても鉄道利用とまちづくりを結び付けて考えていきたいと思っている。
- ・列車のイベント利用などの話も出てきて、難しい部分などが出てくるとこともあるが、協力はしていきたいと考えており、先々を見越して計画していただいて一緒に検討をしていきたい。

（田村市 白石市長）

- ・ワーキンググループで出た案は全部やるくらいの気持ちで取り組みたいと考えている。
- ・鉄道利用だけではない、バスなどでも利用可能となるような地方での Suica の利便性の向上を JR へお願いしたい。

（福島県 鈴木生活環境部長）

- ・ワーキンググループの成果報告では、すぐにでも事業化できそうなものがたくさんあった。
- ・そういったアイデアを実現していただくために、新年度は水郡線の開通90周年イベントが予定されており、それを他路線でも展開していきたい。また、新たに鉄道利用促進事業補助金制度を準備したのでぜひ活用していただきたい。

（三春町 坂本町長）

- ・磐越東線はローカル線としては、平均速度がとても速い。そういった特徴を積極的にPRしていただきたい。
- ・駅機能の拡充（駅事務所等の活用、バリアフリー対応等）の検討を考えており、今後 JR と相談させていただきたい。

（小野町 村上町長）

- ・ワーキンググループの報告でサイクルトレインの話が出たが、小野町ではすでに小川郷駅まで自転車で下り、帰りは、自転車については車で運び、人は列車で小野町まで帰ってくると

いう事業を行っているところがある。是非サイクルトレインができるようになってほしいという声がある。

- ・小野町でも駅舎の活用というのは、検討したいので JR には今後、相談させていただきたい。(郡山市 村上副市長)
- ・水郡線の協議会に参加した時も話させていただいたが、磐越東線、水郡線、さらに常磐線を加えたトライアングルに福島空港、茨城空港も加えた連携ができてくると年間を通じて魅力的なルートが構築できると思うので、長期的な取り組みとなるが今後検討を進められたらと思う。

7 会議状況



以上